

富士宮市文化財年報

第13号

令和4年度



2023
富士宮市教育委員会

富士宮市文化財年報

第13号

令和4年度

2023
富士宮市教育委員会

例 言

- 1 本書は、令和4年度に実施した富士宮市内における文化財保護事業の概要をまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、文化財保存・管理事業、埋蔵文化財事業、郷土資料館事業、歩く博物館事業、市史編さん事業、その他の事業に分類した。
- 3 本書の執筆・編集は、富士宮市教育委員会教育部文化課の各担当（令和4年度）が行った。

4 令和4年度文化財関係組織

教 育 長	池谷 眞徳	
教 育 部 長	植松 宏幸	
教育部参事兼文化課長兼埋蔵文化財センター所長兼市史編さん室長	深澤 哲治	
主幹兼学術文化財係長	中野 香織	（文化財管理担当）
学術文化財係学芸員	高橋 菜月	（文化財管理担当）
同 学芸員	柿崎 沙織	（文化財管理担当）
埋蔵文化財センター主任学芸員	保竹 貴幸	（埋蔵文化財担当）
同 学芸員	原 悠翔	（埋蔵文化財担当）
同 学芸員	三上 能	（埋蔵文化財担当）
同 会計年度任用職員	馬飼野 行雄	（埋蔵文化財担当）
同 会計年度任用職員	小倉 久美	（埋蔵文化財担当）
市史編さん室主事	小倉 匠	（市史編さん担当）
同 学芸員	松本 将太	（市史編さん担当）
郷土資料館会計年度任用職員	渡井 一信	（郷土資料館長）

《表紙写真：村山浅間神社駐車場》

目 次

富士宮市文化財年報第 13 号の刊行にあたって	1
I 令和 4 年度の文化財保護事業	
1 概要	3
2 文化財保護事業一年の歩み	4
II 文化財保存・管理事業	
1 指定文化財整備事業	6
(1) 史跡「富士山」整備事業	
(2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業	
(3) 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業	
2 指定文化財保存管理事業	8
(1) 富士宮市文化財保護補助金の交付	
(2) 指定文化財保護対策事業	
(3) 文化財防火デー	
3 (仮称) 富士宮市郷土史博物館推進事業	10
(1) (仮称) 富士宮市郷土史博物館地域説明会	
4 寄附受納	
(1) 郷土の文化財保護に対する寄附	12
III 埋蔵文化財事業	
1 発掘調査事業	13
(1) 村山浅間神社遺跡発掘調査(資料整理作業・発掘調査報告書刊行)	
(2) 滝戸遺跡発掘調査(資料整理)	
2 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査	14
(1) 東田遺跡	
(2) 連雀町遺跡	
3 埋蔵文化財活用事業	18
4 富士宮市埋蔵文化財センター	18
(1) 施設概要	
IV 郷土資料館事業	
1 展示	19
(1) 企画展	
2 資料収集・保存管理	19
(1) 資料収集	
(2) 保存管理	
3 市内石造物悉皆調査事業	21
(1) 令和 4 年度実績	

V	歩く博物館事業	
1	標柱・説明板整備	22
VI	市史編さん事業	
1	概要	23
2	市史編さん委員会	23
	(1) 市史編さん委員会の開催	
3	分野別の活動	23
	(1) 自然環境	
	(2) 民俗	
	(3) 考古	
	(4) 中世	
	(5) 近世	
	(6) 近現代	
4	その他	24
VII	その他の事業	
1	問合せ対応	25
2	小中学校総合学習への対応	25
3	講師派遣	25
	(1) 富士山まちづくり出前講座	
資料 i	各委員会等委員名簿	27
資料 ii	富士宮市内指定文化財等一覧	30

富士宮市文化財年報第 13 号の刊行にあたって

文化課長 深澤 哲治

富士宮市は、富士山に象徴される多彩な自然を背景にした豊かな歴史を持つことから、多くの文化財があります。富士宮市では、これまで文化財の保護・保存に力を入れてきましたが、近年は文化財を取り巻く環境が変化したこと、観光を含めた活用にも重点を置くようになりました。そのため、文化財関係の事業は史跡富士山や史跡大鹿窪遺跡の公開を図るための整備に重点を置くようになってきました。

一方で、文化財の活用を図るためには、文化財の本質的価値を明らかにするための調査・研究も欠かせませんので、業務の内容も多彩になっています。

「富士宮市文化財年報」第13号は、このような変化の中にある富士宮市の文化財行政についての令和4年度の活動をまとめたものです。

ここでは、主な活動についての概要をまとめます。

1 文化財保存・管理事業

文化財の公開を進めるための整備については、史跡富士山（村山浅間神社・富士山本宮浅間大社・人穴富士講遺跡）の次期整備に向けた調査、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」の整備工事と次の整備に向けた調査、整備基本計画の改定、また史跡大鹿窪遺跡の整備工事に着手しました。

また文化財の維持のために消毒や補強、防災設備の整備などの支援も継続しています。

そのほか、令和3年度に作成した（仮称）富士宮市郷土史博物館基本構想を市民に周知するための説明会や市内の歴史や学芸員の仕事を学ぶ講座を実施しました。



写真1 「縄文土器を調べてみよう」講座



写真2 古文書講座

2 埋蔵文化財事業

富士宮市には縄文時代を中心に多くの遺跡が存在します。これらの遺跡からの膨大な出土品の保存活用に向け、埋蔵文化財センターで整理・保管し、調査・研究及び出土資料の収蔵や展示などを行なっています。

その結果をもとに、貴重な遺跡発掘調査資料についての報告書を刊行しており、令和4年度には、令和3年度に行った村山浅間神社の駐車場整備事業に伴う発掘調査報告書を刊行しました。また、同じく令和3年度に行った富士宮市立第三中学校擁壁工事に伴う滝戸遺跡の発掘調査の資料整理作業を行いました。

そのほか、開発行為に伴い28か所の確認調査を行いました。

3 郷土資料館事業

郷土資料館では、市内にある古墳時代の遺跡について紹介した「古墳時代の富士宮」展、放送中の大河ドラマと関連した「富士宮と徳川家康」展を行い、発掘調査で得られた資料や写真等を中心に展示しました。

そのほか、資料の収集・保管や市内石造物悉皆調査を継続して行っています。

4 市史編さん事業

資料調査、市史編さん委員会での協議、執筆・校正等を経て、令和5年3月に市史第1巻となる『富士宮の歴史 自然環境編』を刊行しました。

また、民俗編及び通史編Ⅰ～Ⅲの執筆を見据えて調査を継続しています。

5 むすびに

富士宮市の文化財行政においては、多種多様な文化財の保護・調査・保存に取り組むとともに、公開・活用に向けた史跡整備、文化財を市民に知ってもらう学習会の開催、市史編さん事業など多くの事業に取り組んでいます。

また、令和5年度に取り組むべき課題としては、文化財保存活用地域計画の策定、博物館整備の推進、特別天然記念物湧玉池の美観維持などを予定しており、その他にも課題は山積しています。

このような状況の中ではありますが、市民が多彩で豊かな富士宮市の歴史に誇りを持てるよう、文化財の保護・保存・活用を図るとともに、歴史的・文化的資産の一層の掘り起こしに努め、調査研究の成果を市民のみなさんに還元していきたいと考えています。

富士宮市の豊かな歴史を守り伝えていくために、これからも、関係者の皆様のご支援・ご協力をいただきますようお願いします。

I 令和4年度の文化財保護事業

1 概要

富士宮市における令和4年度の文化財保護関連事業の概要は、下記のとおりである。

〈文化財保存・管理事業〉

史跡「富士山」、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」、史跡「大鹿窪遺跡」の各文化財について、各整備委員会等の指導を得て調査・整備等の事業を実施した。

史跡「富士山」については、「村山浅間神社・大日堂」「山宮浅間神社」において今後の整備の検討のため測量等調査を実施した。また、「村山浅間神社・大日堂」において、石垣の調査及び石垣カルテ作成を行った。

名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」では、白糸ノ滝のエントランスとなる土地の整備が完了した。また既存店舗跡地の公園・排水施設等の整備を行っている。また景観を阻害する売店通りの既存店舗を移転させるための対象となる土地の買い上げを行った。

史跡「大鹿窪遺跡」では、令和3年度に作成した実施設計に基づき、3か年で予定している整備工事の1か年目を実施した。

その他、文化財防火デー（1月26日）における防火運動の実施や、市内指定文化財の保存・管理事業への補助金交付や未指定文化財調査等、文化財保存・管理事業を推進した。

〈埋蔵文化財事業〉

村山浅間神社遺跡の発掘調査報告書刊行を実施した。また、滝戸遺跡の発掘調査資料の整理作業を実施した。

開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査を28件実施した。

〈郷土資料館事業〉

郷土資料館において、常設展のほか企画展を実施した。

資料収集・保存管理事業として、民俗資料等の収集や収蔵品くん蒸を実施した。また、市史編さん事業に伴い、市内石造物悉皆調査事業を実施した。

〈歩く博物館事業〉

新型コロナウイルス感染状況が落ち着いてきたことから、歩く博物館探索会を再開した。

大河ドラマ「どうする家康」に関連し戦国時代の富士宮にちなんだ「神田市神社」「蔵屋敷稲荷神社」などについて説明板を新設し、また既存の標柱・説明板の説明内容の更新等整備を行った。

〈市史編さん事業〉

市史の分野別に、調査、打合せ等を継続して実施した。また、市史編さん委員会での協議、執筆・校正等を経て、第1巻となる『富士宮の歴史 自然環境編』を刊行した。

〈その他の事業〉

市内の歴史・民俗等に関する問合せに対応したほか、小中学校の総合学習（富士山学習）への対応や、富士山まちづくり出前講座等の講師を務めた。

2 文化財保護事業一年の歩み

〈令和4年〉

4月8日 東田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
4月11日 向谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
4月14日 浅間大社遺跡埋蔵文化財確認調査実施
4月27日 辰野遺跡埋蔵文化財確認調査実施
5月23日 柚野辻遺跡埋蔵文化財確認調査実施
6月1日 東田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
6月8日 第1回史跡大鹿窪遺跡整備委員会開催
6月10日 滝戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
6月17日 第1回市史編さん委員会開催
7月14日 東田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
7月20日 上ノ原遺跡埋蔵文化財確認調査実施
7月28日 二ノ宮遺跡埋蔵文化財確認調査実施
8月1日 連雀町遺跡埋蔵文化財確認調査実施
8月4日 代官屋敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施
8月9日 五反田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
8月17日 丸ヶ谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
8月19日 第1回史跡富士山整備委員会開催
8月22日 根方遺跡埋蔵文化財確認調査実施
8月29日 貫戸下谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
9月2日 村山浅間神社遺跡埋蔵文化財確認調査実施
9月18日 第2回市史編さん委員会開催
9月20日 東田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
9月24日 郷土資料館収蔵品くん蒸実施（9月26日まで）
9月26日 郷土資料館企画展「古墳時代の富士宮」展（1月15日まで）
10月11日 第1回白糸ノ滝整備委員会開催
10月18日 貴船町遺跡埋蔵文化財確認調査実施
10月20日 城山遺跡埋蔵文化財確認調査実施
11月8日 富士丘遺跡埋蔵文化財確認調査実施
11月22日 小泉中村遺跡埋蔵文化財確認調査実施（11月24日まで）
11月24日 第1回名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備委員会開催
11月30日 栈敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施
12月14日 第2回史跡大鹿窪遺跡整備委員会開催

12月15日 荻間遺跡埋蔵文化財確認調査実施
12月23日 第2回白糸ノ滝整備委員会開催
12月26日 峯石遺跡埋蔵文化財確認調査実施

〈令和5年〉

1月11日 羽衣町遺跡埋蔵文化財確認調査実施
1月17日 第2回史跡富士山整備委員会開催
1月26日 文化財防火デー
1月28日 郷土資料館企画展「富士宮と徳川家康展」（5月7日まで）
2月20日 出水遺跡埋蔵文化財確認調査実施（2月21日まで）
2月28日 西町遺跡埋蔵文化財確認調査実施
3月31日 市史第1巻『富士宮市の歴史 自然環境編』刊行

Ⅱ 文化財保存・管理事業

1 指定文化財整備事業

(1) 史跡「富士山」整備事業

史跡「富士山」（平成23年2月7日指定）について、史跡富士山整備委員会の指導を受けながら、史跡整備事業を実施した。また、便益施設及び史跡内の管理（草刈り等）については地元の地域団体等に委託して実施した。

ア 史跡富士山整備委員会の開催

第1回 開催日：令和4年8月19日（金）

内 容：令和3年度までの各構成資産の整備の状況と今後の整備予定・計画の説明
令和4年度の調査・整備事業計画の説明（村山浅間神社測量調査、山宮浅間神社測量調査）。

第2回 開催日：令和5年1月17日（火）

内 容：令和4年度の事業を変更して、村山浅間神社・大日堂と山宮浅間神社で県のオープンデータでの3Dデータを使用した地形図の作成及び測量等調査と村山浅間神社・大日堂石垣調査及び石垣カルテ作成を実施することを説明した。
令和5年度の事業として、村山浅間神社・大日堂の石垣修理のほか、龍頭池の調査と過去の大日堂跡発掘調査、富士山本宮浅間大社の参道の発掘調査について説明した。

イ 各構成資産の調査・整備

(ア) 村山浅間神社・大日堂測量等調査事業

県のオープンデータでの3Dデータを使用し、地形図の作成と業務で使用可能な3Dデータの作成を行った。また、今後の整備に必要な範囲で測量し現況平面図を作成した。

(イ) 山宮浅間神社測量等調査事業

県のオープンデータでの3Dデータを使用し、地形図の作成と業務で使用可能な3Dデータの作成を行った。また、今後の保存管理に必要な範囲で測量し現況平面図を作成した。

(ウ) 村山浅間神社・大日堂石垣調査及び石垣カルテ作成事業

石垣を調査し今後の修理・管理の資料となる石垣カルテを作成した。

(2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業

世界遺産富士山の構成資産となった名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」の整備を整備基本計画（平成24年度富士宮市策定）に基づいて実施していたが、事業の進捗に伴い改訂が必要となったので今年度改定を行った。整備に際しては、今後も文化庁の指導のもと、学識経験者から成る整備委員会で整備内容の協議を重ねて進めていく。

景観を向上させるための既存店舗跡地における公園・排水施設等の整備が完了した。また、指定地内に多くの崖面があることから、来訪者の安全確保や崖面の維持管理のため、測量調査や岩盤スケッチ等の作成、樹林伐採を行った。

便益施設及び指定地内の管理（草刈り等）については、地元の業者に委託し実施した。



写真3 公園・排水施設等整備

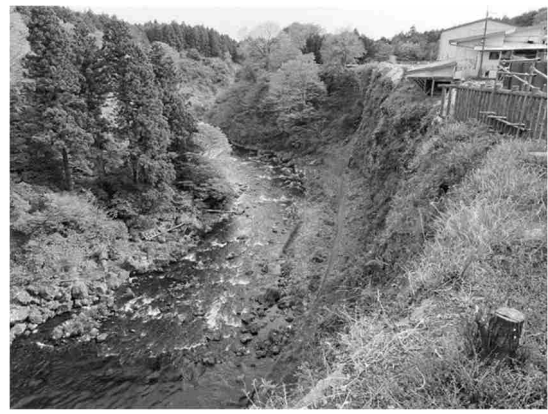


写真4 音止の滝右岸樹林伐採

ア 名勝及び天然記念物白糸ノ滝整備委員会の開催

第1回 開催日：令和4年10月11日（火）

内 容：令和3年度の整備事業内容の説明と「白糸ノ滝整備基本計画」（平成24年度富士宮市策定）の改定内容の説明及び検討。

第2回 開催日：令和4年12月23日（金）

内 容：「白糸ノ滝整備基本計画」の改定内容の説明及び検討、令和5年度実施の広場整備工事・音止の滝展望場整備工事の内容説明及び検討。

（3）史跡「大鹿窪遺跡」整備事業

「大鹿窪遺跡」（平成20年3月28日指定）について、令和3年度に作成した実施設計に基づき、3か年で予定している整備工事の1か年目を行った。また、適正な保存・公開・活用を検討するため、史跡大鹿窪遺跡整備委員会を開催した。その他、史跡管理のため、指定地内（約6,600㎡）の草刈りを地元区に委託して実施した。



写真5 土留め（奥）・溶岩流の立体表現

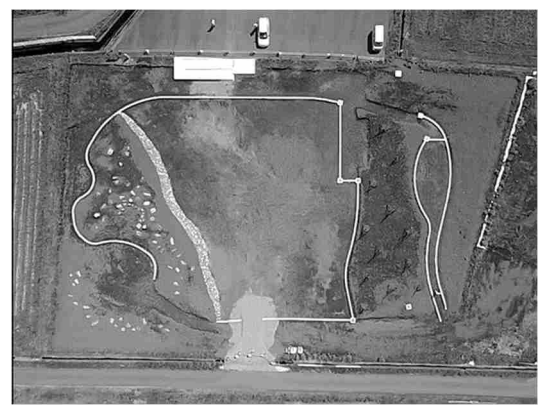


写真6 令和4年度工事成果

ア 史跡大鹿窪遺跡整備委員会の開催

1 回目

開催日：令和4年6月8日（水）

内 容：令和3年度史跡大鹿窪遺跡整備実施設計、令和2年度史跡大鹿窪遺跡発掘調査結果報告について、内容検討を行った。

2 回目

開催日：令和4年12月14日（水）

内 容：樹種同定の結果報告、史跡大鹿窪遺跡整備工事内容及び施工方法、整備後の運営方法について、内容検討を行った。

2 指定文化財保存管理事業

(1) 富士宮市文化財保護補助金の交付

「富士宮市文化財保護補助金交付要綱」に基づき、以下の通り市内指定文化財の管理・保存・活用事業に対して補助金の交付を行った。

ア 国指定重要文化財「富士山本宮浅間神社本殿」指定文化財管理事業

補助事業者：宗教法人 富士山本宮浅間大社

事業内容：国指定重要文化財「富士山本宮浅間神社本殿」の自動火災報知設備・消火設備（加圧式動力消防ポンプ）・避雷針の保守点検等の文化財管理事業を実施した。

イ 県指定有形文化財「富士山本宮浅間大社社殿」指定文化財管理事業

補助事業者：宗教法人 富士山本宮浅間大社

事業内容：県指定有形文化財「富士山本宮浅間大社社殿」の自動火災報知設備・消火設備（加圧式動力消防ポンプ）・避雷針の保守点検等の文化財管理事業を実施した。

ウ 国指定文化財「富士山本宮浅間神社本殿」防災設備整備事業

補助事業者：宗教法人 富士山本宮浅間大社

事業内容：本殿について、令和4年度から5年度までの2ヶ年計画として、既設消火ポンプ更新工事、ステンレスパネル貯水槽新設工事、既設放水銃更新工事、屋外易操作性消火栓増設工事を実施することとした。令和5年度に改修予定の放水銃の台数に対応するため、令和4年度は放水銃更新工事に先立って放水銃更新工事等に先んじて既設消火ポンプ更新工事を実施した。

エ 県指定天然記念物「西山本門寺の大ヒイラギ」保護事業

補助事業者：宗教法人 西山本門寺

事業内容：ヒイラギの上部には新たに不定根が生えていることが確認できているが、

平成 18 年度に設置した四脚支柱・不織布の保護材が劣化してきていることからその対処としてヒイラギの保護事業を行った。

内容は、敷地内の剪定作業、土壌分析及び土壌調査、根茎調査を行い、単管パイプの支柱を設置し金網等を外す際の衝撃緩和のためロープでヒイラギを吊り上げた。金網を外して不定根を確認後、樹幹不定根誘導資材を充填し幹巻資材で幹を囲った。

オ 県指定天然記念物「猪之頭のミツバツツジ」保護事業

補助事業者：所有者

事業内容：令和 3 年 12 月 12 日頃、強風により西側の枝 1 本が折損した。根元が折れているが完全には折れておらず、地面に近い場所は生育していた。雨期を過ぎても葉がつかない状況であることから、強風により折損した西側の枝を根元から伐採し樹木への負担を軽減した。また、東側の枝の一部に葉の生育が見られないため、今後の対応策を検討するために土壌調査を行うとともに、枝の負担を軽減するために支柱を 2 カ所設置した。

カ 県指定天然記念物「村山浅間神社の大スギ」「村山浅間神社のイチョウ」保存・管理事業

補助事業者：宗教法人 村山浅間神社

事業内容：指定の際に文化財説明板を設置したが、平成 30 年の台風の際に枝が当たったことによる変形や、経年による盤面の劣化があり、説明板が十分な役割を果たしていない。そのため、同じ場所に同じ規模で説明板の立て直しを行った。

キ 市指定有形文化財「大日如来坐像」等保存活用事業

補助事業者：宗教法人 村山浅間神社

事業内容：村山浅間神社大日堂所在の市指定文化財「大日如来坐像（胎蔵界）」他 5 点の市指定文化財について、防カビ・防虫のためのくん蒸を行った。

ク 市指定無形民俗文化財「火伏念仏」保存活用事業

補助事業者：火伏念仏保存会

事業内容：使用していた太鼓が破損したため修理を行った。

ケ 市指定文化財建造物「平等寺の三門」管理事業

補助事業者：浄土宗 平等寺

事業内容：全体が傾斜し、また漆喰や瓦が劣化し、地面に落下している状態で、保存修理について検討中であるが、すでに瓦の落下が見られ、付近歩行者の安全対策として三門瓦落下防止対策工事を行った。

コ 市指定文化財天然記念物「平野のエドヒガンザクラ」管理事業

補助事業者：上羽鮎区平野町内会

事業内容：9月12日、副幹北西側の枝1本が半分ほど折れていることが判明した。放置したままでは危険が伴うため、専門業者に依頼し、折れた枝の切除をした。合わせて主幹の枯死部分のうち、折損・落下の危険がある部分2ヶ所を切除した。



写真7 狩宿の下馬ザクラ（施肥）

(2) 指定文化財保護対策事業

国指定特別天然記念物「狩宿の下馬ザクラ」の樹勢保持のため、令和5年3月に施肥・消毒等を実施した。

(3) 文化財防火デー

文化財防火デーは、国民全体の重要な宝である文化財を火災や震災などの災害から守るために昭和30年に定められたもので、毎年1月26日を中心に全国で文化財防火運動が実施されている。

市内では、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、富士山本宮浅間大社と大石寺で防火訓練が実施された。また、消防本部による消防設備の点検や、東京電力パワーグリッド（株）富士支社の協力による指定文化財建造物の漏電検査を行った。



写真8 防災訓練（大石寺）



写真9 防災訓練（富士山本宮浅間大社）

3 （仮称）富士宮市郷土史博物館推進事業

(1) （仮称）富士宮市郷土史博物館地域説明会

令和3年度に作成した（仮称）富士宮市郷土史博物館基本構想を市民に周知するため地域説明会等を行った。

実施期間 令和4年6月15日（水）から7月6日（水）まで
参加者数

	会場	対象学区	参加人数
6月15日(水)	西公民館	三中	20人
16日(木)	柚野公民館	柚野中	26人
17日(金)	上野会館	上野中	18人
21日(火)	富士根北公民館	富士根北中	14人
22日(水)	駅前交流センター	二中	18人
23日(木)	富士根南公民館	富士根南中	19人
24日(金)	南部公民館	一中	11人
28日(火)	大富士交流センター	大富士中	11人
29日(水)	富丘交流センター	四中	23人
30日(木)	白糸出張所	西富士中	21人
7月1日(金)	芝川公民館	芝川中	32人
5日(火)	北山出張所	北山中	25人
6日(水)	上井出出張所	西富士中・井之頭中	44人
合 計	13会場		282人

実施日	令和4年8月7日（土）
場 所	市民文化会館小ホール
内 容	（仮称）郷土史博物館構想についての説明、 縄文土器からわかること説明 拓本製作体験、縄文土器の絵合わせ及び分類体験
対 象	市内在住の児童・生徒とその保護者



写真 10 配布チラシ

参加者

回	参加家族数	大人	子ども	合計人数
1	16	19 人	19 人	38 人
2	13	15 人	18 人	33 人
合計	29	34 人	37 人	71 人

エ 古文書に挑戦して戦国時代の富士宮を学ぼう

実施日 令和5年2月1日(水)・8日(水)

場 所 市役所620会議室

内 容 (仮称)郷土史博物館構想についての説明

学芸員による解説

「古文書・朱印状について」「徳川家康朱印状の背景」

「戦国大名の伝馬制」「数量単位と棟別銭」

読解チャレンジ

対 象 市内在住・在勤の方

参加者 定員12人 参加者12人

オ 博物館利用についてのチラシ作成・配布

内 容 「夏休みだ！行ってみよう博物館」として、博物館の楽しみ方などと近隣の博物館の紹介チラシを作成し、を市内小学生に配布した



写真11 配布チラシ

4 寄附受納

(1) 郷土の文化財保護に対する寄附

令和4年9月22日付けで、池谷正江氏から「ふじのみや寄附金」の申し込みがあった。氏は歴史を振り返る中、富士宮市に残る文化財が、ともすれば廃棄されたり、散逸してしまうことに大きな危惧を抱き、文化財を一度失ってしまうと、市の歴史を保存し、未来へ託すことが出来なくなり、取り返しのつかない大変な損失になることを懸念され、文化財保護に対する事業に対して現金20,000,000円を寄附された。

市では10月26日付けでこれを受納し、11月9日に感謝状を贈呈した。



写真12 感謝状贈呈式

Ⅲ 埋蔵文化財事業

1 発掘調査事業

開発行為に伴い行った埋蔵文化財の発掘調査の資料整理作業・発掘調査報告書刊行を実施した。

(1) 村山浅間神社遺跡発掘調査（資料整理作業・発掘調査報告書刊行）

令和3年度に実施した駐車場整備事業に伴う発掘調査の資料整理作業を行い、発掘調査報告書を令和5年3月に刊行した。

所在地：富士宮市村山 1166-1、1166-2、1166-4、1166-5、1174-11

期 間：令和3年7月16日～9月30日

面 積：発掘面積約 180 m²

目 的：駐車場整備工事に伴う発掘調査

《遺跡の概要》

村山浅間神社遺跡は、世界遺産でもある史跡富士山を構成する村山浅間神社の周辺に広がる遺跡で、縄文時代と、富士山信仰（村山修験）に関係する平安時代から近現代までの遺跡である。

《今回発見された主な遺構・遺物》

遺構：土坑（時期不明）

遺物：陶磁器（中世～近現代）

《調査の成果》

時期は不詳であるが 19 基の土坑を検出した。また、中世に遡ると考えられる舶載陶磁器や近世の国産陶磁器が出土した。

今回の確認調査及び本調査では舶載陶磁器や火災を示唆する炭化物及び焼土が検出されたことから従来指摘されていたとおり池西坊の可能性が高いと考えられる。



図1 対象地

(2) 滝戸遺跡発掘調査（資料整理）

富士宮市立第三中学校擁壁工事に伴い令和3年度に実施した発掘調査の資料整理作業を行った。

所在地：富士宮市野中 658 ほか

期 間：令和3年6月16日～12月10日

面 積：発掘面積約 125 m²

目 的：擁壁工事に伴う発掘調査

《遺跡の概要》

滝戸遺跡は、富士宮市立第三中学校の校庭を中心に潤井川まで広がる大遺跡で、縄文・弥生・古墳時代にまたがる複合遺跡である。これまでの調査によって、縄文



図2 対象地

時代の竪穴住居跡や配石遺構、弥生時代から古墳時代にかけての住居跡や方形周溝墓などが発見され、各時代の土器・石器などの遺物も多数発見された。

《今回発見された主な遺構・遺物》

遺構：集石・配石遺構、埋甕（縄文時代中期～後期）

方形周溝墓（弥生時代）

遺物：土器・石器（縄文時代草創期・早期・中期・後期、弥生時代末期～古墳時代初頭）

《調査の成果》

縄文時代中期から後期の遺構面（縄文1面）が検出され、集石・配石遺構5基及び埋甕6基が発見された。包含層からは、井戸尻式から堀之内式までの土器及び石器が多量に出土した。主体を占める型式は曾利Ⅲ式～曾利Ⅴ式までとなっている。

縄文1面を切る形で、弥生時代の方形周溝墓が構築されていることが確認された。方形周溝墓は3基検出され、溝の中から弥生時代末期～古墳時代初頭にあたる土器片が多く出土した。また、残存率の高い二重口縁壺が1点出土している。

縄文1面の包含層が約1m続き、その下位から褐色土層が検出された。従来の調査では当該土層からは遺物が出土していなかったが、一部を深掘したところ、黒曜石が大量に出土した。そのため褐色土層を縄文2面として精査をおこなったところ、調査区中央部を中心として、縄文時代早期の撚糸文土器、縄文時代草創期の微隆起線文土器、隆線文土器及び有舌尖頭器等の遺物が出土した。

2 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査

令和4年度に行った調査は表1のとおりであり、遺構は東田遺跡(8)、連雀町遺跡(11)、貴船町遺跡(19)で遺構が検出された。検出された遺構の概要は以下のとおりである。また、滝戸遺跡(7)では縄文～弥生時代の土器が検出された。

表1 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査一覧表

番号	名称	所在地	調査期間	調査面積	時代	主な遺構	主な遺物
1	東田遺跡	淀川町	R4.4.8	3㎡	弥生、古墳	なし	なし
2	向谷戸遺跡	大久保	R4.4.11	4㎡	縄文、弥生、古墳	なし	なし
3	浅間大社遺跡	宮町	R4.4.14	1㎡	縄文、古墳、古代、平安、中世、近世	なし	なし
4	辰野遺跡	大岩	R4.4.27	3㎡	縄文、弥生、古墳	なし	なし
5	柚野辻遺跡	下柚野	R4.5.23	15㎡	縄文、弥生、古墳	なし	なし

6	東田遺跡	中里東	R4. 6. 1	3 m ²	弥生、古墳	なし	なし
7	滝戸遺跡	野中	R4. 6. 10	3 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	土器 (縄文・弥生)
8	東田遺跡	貴船町	R4. 7. 14	7 m ²	弥生、古墳	竪穴住居 (古墳)	土器 (弥生、古墳)
9	上ノ原 遺跡	大中里	R4. 7. 20	6 m ²	縄文、古墳	なし	なし
10	二ノ宮 遺跡	光町	R4. 7. 28	6 m ²	古墳、奈良	なし	なし
11	連雀町 遺跡	元城町	R4. 8. 1	3 m ²	弥生、古墳	土坑、溝 (弥生～ 古墳)	土器 (弥生～古 墳)
12	代官屋敷 遺跡	小泉	R4. 8. 4	2. 5 m ²	縄文、古墳	なし	なし
13	五反田 遺跡	黒田	R4. 8. 9	3 m ²	縄文、弥生	なし	なし
14	丸ヶ谷戸 遺跡	大岩	R4. 8. 17	6 m ²	縄文、弥生、 古墳、中世	なし	なし
15	根方遺跡	大中里	R4. 8. 22	3 m ²	古墳	なし	なし
16	貫戸下谷 戸遺跡	貫戸	R4. 8. 29	2. 7 m ²	縄文、古墳、 奈良、平安	なし	なし
17	村山浅間 神社遺跡	村山	R4. 9. 2	4 m ²	縄文、平安、中世、 近世、近現代	なし	なし
18	東田遺跡	貴船町	R4. 9. 20	3 m ²	弥生、中世	なし	なし
19	貴船町 遺跡	西町	R4. 10. 18	3 m ²	弥生、古墳、奈良	溝状遺構	なし
20	城山遺跡	若の宮 町	R4. 10. 20	4. 5 m ²	古墳、中世	なし	なし
21	富士丘 遺跡	根原	R4. 11. 8	4. 5 m ²	縄文	なし	なし
22	小泉中村 遺跡	小泉	R4. 11. 22 ～ 11. 24	4 m ²	縄文、古墳	なし	なし

23	栈敷遺跡	北山	R4. 11. 30	9 m ²	奈良～平安	なし	なし
24	荻間遺跡	小泉	R4. 12. 15	3 m ²	弥生、古墳、奈良	なし	なし
25	峯石遺跡	大岩	R4. 12. 26	3 m ²	縄文、古墳、奈良	なし	なし
26	羽衣町 遺跡	西町	R5. 1. 11	6 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし
27	出水遺跡	大岩	R5. 2. 20～ 2. 21	20 m ²	縄文、古墳	なし	なし
28	西町遺跡	泉町	R5. 2. 28	9 m ²	弥生、古墳	なし	なし

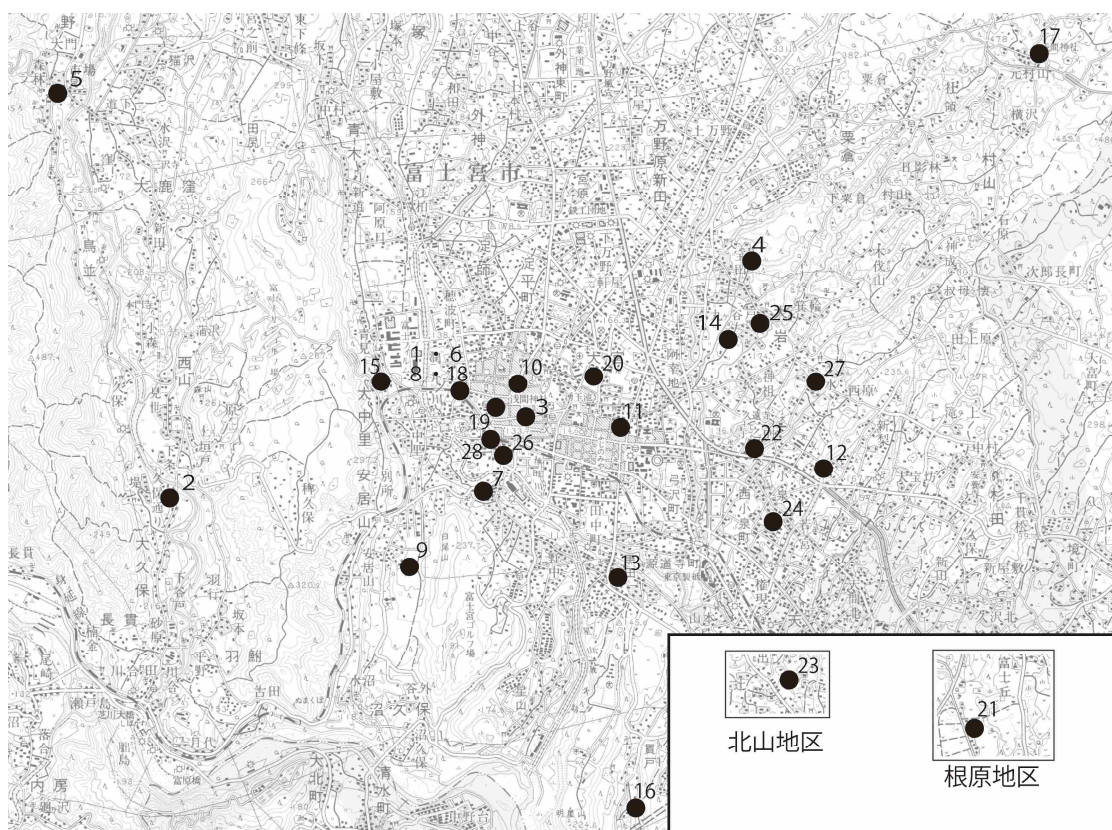


図3 確認調査実施箇所位置図 (S=1/80,000)

(1) 東田遺跡 (表1—8)

《遺跡の概要》

富士宮市中大里字東田を中心に広がる遺跡である。平成20年に実施した発掘調査では、古墳時代前期の竪穴住居跡10基と古墳時代後期の竪穴住居跡3基が確認され、平安時代の土器も出土している。

《調査の概要》

個人住宅の建設に伴う事前の確認調査で、トレンチ 2 本を設定して掘削を行った。
《主な遺構・遺物》

遺構：竪穴住居、溝状遺構 遺物：土器（弥生時代、古墳時代、奈良平安時代）

《調査の成果》

Tr 1 では、現代の造成土の下位に自然の堆積が残っていた。現況地盤から約 90 cm のところで、砂層を掘削して構築された遺構が検出された。遺構の覆土からは古墳時代～奈良平安時代にかけての土器が出土した。検出した遺構の形状及び出土遺物から Tr 1 の遺構は古墳時代～奈良平安時代にかけての住居跡である可能性が高い。

Tr 2 は Tr 1 とほぼ同様な堆積状況で、Tr 1 と同じく砂層を掘削して構築された。遺構が検出された。遺構は、断面の状況から溝のようなものと推測されるが、詳細ははっきりとしない。遺構の覆土からは弥生時代後期～古墳時代前期にかけてと考えられる土器が出土した。このことから Tr 2 の遺構は出土遺物から弥生時代後期～古墳時代前期にかけての遺構と考えられる。

以上のことから、今回調査を行った地点は弥生時代後期～奈良平安時代までの遺構が重複して存在する土地であると考えられる。



写真 13 Tr 1 完掘状況



写真 14 Tr 2 完掘状況



写真 15 出土遺物

(2) 連雀町遺跡（表 1—11）

《遺跡の概要》

大頂寺周辺に広がる弥生、古墳時代の遺跡である。

《調査の概要》

個人住宅の建築に伴う事前の確認調査で、トレンチ 1 本を設定して掘削を行った。

《主な遺構・遺物》

遺構：溝状遺構、ピット 遺物：土器（弥生時代～古墳時代）

《調査の成果》

トレンチ 1 では盛土及び造成土の下位には遺物包含層が残存していた。現況地盤より約 80 cm の地点で溝状の遺構やピットを複数検出し覆土から、弥生時代～古墳時代にかけての遺物が出土した。以上の事から、弥生時代～古墳時代にかけての遺構であると考えられるが、用途などについては不明である。

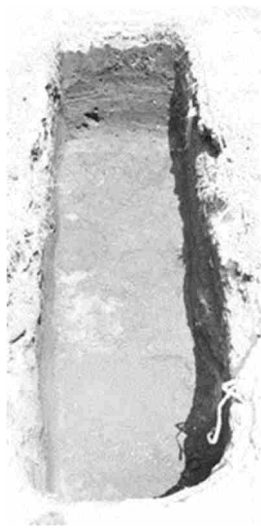


写真 16 トレンチ完掘状況

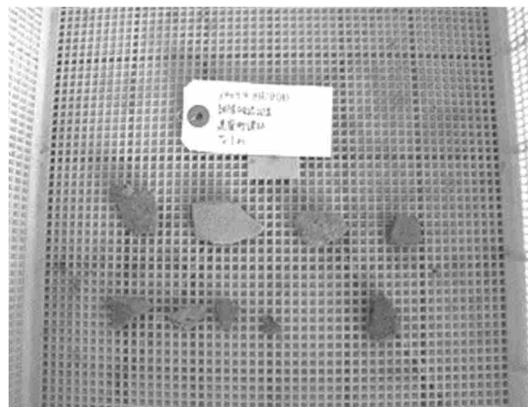


写真 17 出土遺物

3 埋蔵文化財活用事業

埋蔵文化財活用事業として、以下の教室を行った。

名称	内容	実施日	参加者数
「作ろう！勾玉」教室	勾玉作り	令和4年8月19日 令和4年8月20日	午前6名、午後2名 午前6名、午後3名

4 富士宮市埋蔵文化財センター

発掘調査で出土した遺物を収蔵保管し、整理作業を行っている。また、展示室では市内の遺跡・史跡の展示をしている。

(1) 施設概要

所在地：富士宮市長貫 747-1

電話番号：0544-65-5151

FAX番号：0544-65-2933

駐車場：50 台

開館日：平日（祝日・年末年始休館、土・日曜日は団体のみ（要事前連絡））

開館時間：9:00～17:00

見学料：無料

展示内容：旧石器時代から中世・近世の各時代出土資料、市内主要遺跡の紹介、史跡富士山関連遺跡発掘調査出土資料



写真 18 展示室

IV 郷土資料館事業

1 展示

(1) 企画展

① 「古墳時代の富士宮」展

期間：令和4年9月26日～令和5年1月15日

内容：市内にある古墳時代の遺跡について、出土した土器等を展示し、図・写真・パネル等で紹介。

② 「富士宮と徳川家康」展

期間：令和5年1月28日～5月7日

内容：市内に残る徳川家康の業績や伝承について、図・写真・パネル等で紹介。



写真 19 「古墳時代の富士宮」展



写真 20 「富士宮と徳川家康」展

2 資料収集・保存管理

(1) 資料収集

表2 郷土資料収集品一覧

受入月	内容	収集方法
令和4年 4月	歴史資料 1式	個人寄贈
4月	民俗資料 5点	現地採集
5月	民俗資料 4点	個人寄贈
6月	歴史資料 1式	個人寄贈
7月	民俗資料 1点	個人寄贈
7月	美術資料 1点	個人寄贈
9月	民俗資料 1式	地縁団体寄贈

10 月	写真資料	1 式	個人寄贈
11 月	歴史資料	7 点	個人寄贈
12 月	民俗資料	1 式	地縁団体寄贈
12 月	歴史資料	1 式	個人寄贈
令和 5 年 1 月	歴史資料	3 点	個人寄贈
1 月	歴史資料	4 点	個人寄贈
1 月	写真資料	1 式	個人寄贈
1 月	歴史資料	2 点	個人寄贈
1 月	民俗資料	1 式	個人寄贈
1 月	民俗資料	1 点	個人寄贈
2 月	歴史資料	3 点	個人寄贈
3 月	歴史資料	12 点	個人寄贈
3 月	写真資料	72 点	個人寄贈
3 月	歴史資料	23 点	個人寄贈
3 月	民俗資料	2 点	個人寄贈
3 月	歴史資料	1 点	個人寄贈
3 月	歴史資料	1 点	個人寄贈

※市史編さん事業において資料募集を行い、寄贈資料については郷土資料館で受け入れを行った。



写真 21 古文書



写真 22 子安講のぼり

(2) 保存管理

ア 収蔵品くん蒸事業

日 時：令和 4 年 9 月 23 日(金)～9 月 25 日(日)まで

場 所：被覆くん蒸（埋蔵文化財センター収蔵庫内）（富士宮市長貫 747-1） 約 50 m³
埋蔵文化財センター収蔵庫 約 600 m³
埋蔵文化財センター別棟 約 550 m³

内 容：埋蔵文化財センター収蔵庫内で、被覆くん蒸法により、薬品名エキヒューム S による殺虫・殺カビくん蒸を実施した。あわせて、埋蔵文化財センター収蔵庫・同別棟では、薬品名ブンガノンによる殺虫処理を実施した。（施工業者：関東港業株式会社）

3 市内石造物悉皆調査事業

今後刊行予定の「富士宮の歴史民俗編」の基礎資料とするため、市内石造物の悉皆調査を実施した。

(1) 令和 4 年度実績

富士宮市住宅地図に従い、市内最南端淀師、青木地区付近から順次北上する形で、県境、根原地区付近まで悉皆調査を実施した。調査は 4 人一組（ナビゲーター・写真撮影担当・実測担当・調査票記載者）で行い各石造物の全容写真の撮影、刻字解説、法量測定したものを調査票に記入し、所在位置を住宅地図に落とし込んだ。令和 4 年度の調査実施日は 82 日、調査個数は 1,542 件であった。

以下に主要なものの種別ごとの調査個数を記す。

表 3 令和 4 年度 石造物悉皆調査実績

石祠	246 基	灯籠	191 件	馬頭観音	207 基	旗立石	160 件
題目塔	95 基	記念碑	73 基	地蔵	25 基	手洗石	33 基
道標	20 基	甲子塔	30 基	標石	45 基	観音	44 基

※灯籠・旗立石は 2 基 1 対のものがあるため 1 件とした。

※既に調査が実施されている道祖神・庚申塔については除外。

V 歩く博物館事業

1 標柱・説明板整備

大河ドラマ「どうする？家康」に関連し、戦国時代の富士宮に関するポイントについて、看板を新設又は更新した。

また「神田市神社」「蔵屋敷稲荷」については、これまで歩く博物館の看板が無かったことから、地元で作成した看板等に追加して説明看板を設置し、「二ノ宮浅間神社」については案内板を新設した。

また、その他既存の標柱・説明板の説明内容の更新、及び新設を行った。



写真 23 説明板更新・追加



写真 24 案内板新設

VI 市史編さん事業

1 概要

市民に親しみやすい市史となるよう、図や写真を多用した図説的な形式で、市制施行80周年を迎える令和4年度に第1巻となる『富士宮の歴史 自然環境編』を刊行した。

令和7年度から令和9年度にかけて、民俗編及び通史編Ⅰ～Ⅲを順次刊行する予定である。

市史刊行スケジュール

令和4年度 自然環境編 刊行済み

令和7年度 民俗編

令和7年度 通史編Ⅰ（先史・古代・中世）

令和8年度 通史編Ⅱ（近世）

令和9年度 通史編Ⅲ（近現代）

2 市史編さん委員会

市史編さん委員会を2回開催し、自然環境編刊行に向けて、印刷仕様や表紙・本編等冊子のデザインについて検討を行った。

（1）市史編さん委員会の開催

第1回 開催日：令和4年6月17日（金）

内 容：刊行スケジュール、印刷仕様、フォント、年表、Web掲載ほか

第2回 開催日：令和4年9月18日（日）

内 容：表紙・本文デザイン、フォント、掲載順序、参考文献ほか

3 分野別の活動

資料調査、原稿の執筆・校正等により自然環境編を刊行した。

昨年度から継続して、民俗、考古、中世、近世、近現代の分野ごとに調査等の活動を実施した。市史編さん委員・執筆員により、打合せや行事調査、資料調査等を実施した。

（1）自然環境

・執筆員 13名

・打合せ 1回 執筆内容の確認

・調査 5回 （植生調査、生物調査、現地確認調査）

・原稿 執筆・校正、色校正

(2) 民俗

- ・執筆員 4名
- ・打合せ 1回 近現代との執筆分担の検討
- ・行事調査・聞き取り調査 60回 神社祭典、盆行事、小正月行事、民具調査等
- ・集中調査 4回 猪之頭地区、杉田地区、酒造会社



写真 25 行事調査の様子（民俗）

(3) 考古

- ・打合せ 2回 目次・執筆分担の検討、仮原稿の検討

(4) 中世

- ・執筆員 4名
- ・打合せ 1回 仮原稿の検討

(5) 近世

- ・執筆員 5名
- ・資料調査 41回 古文書目録作成、市内個人宅・寺院などで所蔵資料調査等



写真 26 古文書調査の様子（近世）

(6) 近現代

- ・執筆員 4名
- ・資料調査 26回 古文書目録作成、聞き取り調査等

4 その他

事務局において市内の資料の所在を把握するため、市民に向けて古い資料の提供を呼び掛けた。令和4年度は27件の情報提供をいただき、写真撮影等により資料の記録をした。

VII その他の事業

1 問合せ対応

富士宮市の歴史や民俗などに関する、市内外からの問合せに対応した。要請に応じ、講座等の説明・案内を行った。

2 小中学校総合学習への対応

市内小中学校の総合学習（富士山学習）の一環として、児童・生徒の訪問・質問に対応した。また、各学校を訪問し講話を行った。

3 講師派遣

（１） 富士山まちづくり出前講座

富士山まちづくり出前講座は、市民の自主学習の支援や市政の広報のために設けられたもので、令和４年度も文化課職員が講師となり、中学校や交流センターにおいて、「ふるさとの歴史を学ぶ」と題して講座を開催した。

表４ 令和４年度富士山まちづくり出前講座実施一覧

場所	対象	実施日	内容
大岩三区	一般	令和４年５月１５日	歩く博物館 Ｄ コース「道者道を歩くコース」内の村山地区について解説
第三中学校	生徒	令和４年６月３日	歩く博物館の歴史について解説
富士根北中学校	生徒	令和４年６月１０日	オールコックの富士登山について解説
大富士小学校	生徒	令和４年６月１３日	富士宮市の遺跡について解説
安居山１区	一般	令和４年７月６日	安居山地区の歴史と石造物について解説
駅前交流センター	一般	令和４年７月１５日	棹地稲荷の石造文化財について解説
大富士小学校	一般	令和４年７月２１日	鎌倉時代の富士宮について解説
西公民館	一般	令和４年７月２６日	富士山を詠む俳句を学ぼう
駅前交流センター	一般	令和４年９月４日	曾我物語と富士宮について解説
宮本区民館	一般	令和４年９月１４日	信長の富士見石について解説
西富士図書館	一般	令和４年９月２８日	富士山を詠む俳句を学ぼう

黒田小学校	生徒	令和４年１０月７日	黒田地区の歴史について解説
富士根南小学校	生徒	令和４年１０月20日	富士宮まつりなどの富士宮市の 伝統行事について解説
白糸自然公園	一般 生徒	令和４年１０月23日	歩く博物館 C コース「富士の巻 狩りコース」について解説
柚野小学校	生徒	令和４年１０月27日	柚野小学校周辺と芝川地区にあ る遺跡について解説
黒田小学校	生徒	令和４年１０月28日	月の輪遺跡群からの出土物につ いて解説
黒田小学校	生徒	令和４年１１月10日	黒田の石造文化財について解説
大宮小学校	生徒	令和５年３月８日	卒業を詠む俳句を作ろう

(1) 富士宮市文化財保護審議会委員及び富士宮市立郷土資料館運営協議会委員

任 期 令和3年9月1日から令和5年8月31日まで

根拠法令等 富士宮市文化財保護条例第45条第2項

富士宮市立郷土資料館条例第6条第3項

	氏 名	分 野
会 長	植松 章八	考古・史跡
副会長	北垣 俊明	天然記念物（地質・鉱物）
委 員	芦澤 幹雄	地域史
委 員	堀部 正円	重要文化財管理（大石寺）
委 員	川名 義博	重要文化財管理（北山本門寺）
委 員	甲田 吉孝	重要文化財管理（富士山本宮浅間大社）
委 員	建部 恭宣	建造物
委 員	松田 香代子	民俗・無形民俗文化財
委 員	本間 裕史	重要文化財管理（西山本門寺）
委 員	渡井 正二	民俗・古文書
委 員	渡邊 定元	天然記念物（植物）

(2) 史跡富士山整備委員会委員

任 期 令和2年9月1日から令和4年8月31日まで

令和4年9月1日から令和6年8月31日まで

	氏 名	役 職 等	分 野
※1 委員長	坂詰 秀一	立正大学名誉教授・元学長	考古学
※2 副委員長	田中 哲雄	元東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科教授 姫路市日本城郭研究センター名誉館長	造園学 遺跡整備
委 員	建部 恭宣	富士宮市文化財保護審議会委員 元富士山世界文化遺産静岡県学術委員会委員	建築学
※3 委 員	谷川 章雄	早稲田大学人間科学学術院長	考古学
委 員	中村 羊一郎	静岡産業大学総合研究所客員研究員 元富士山世界文化遺産静岡県学術委員会委員	民俗学
委 員	渡井 正二	富士宮市文化財保護審議会委員 元富士山世界文化遺産静岡県学術委員会委員	近世史 民俗学
※4 委 員	時枝 務	立正大学文学部史学科教授	考古学

※1 令和4年8月31日で退任

※2 令和5年1月17日より委員長

※3 令和5年1月17日より副委員長

※4 令和4年11月18日就任

(3) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備委員会委員

	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	渡邊 定元	元東京大学教授 φ 森林環境研究所長	生態 環境
副委員長	天野 光一	日本大学理工学部教授	景観工学
委 員	池邊 このみ	千葉大学園芸学部教授	景観論 環境計画
委 員	佐野 貴司	国立科学博物館地学研究部鉱物科学研究グループ長	地質学 岩石・鉱物 鉱床学
委 員	関 文夫	日本大学理工学部教授	土木工学
委 員	増澤 武弘	静岡大学客員教授	生態 環境
委 員	渡井 正二	富士宮市文化財保護審議会委員 元富士宮市世界遺産関連学術調査指導員	近世史 民俗学

(4) 史跡大鹿窪遺跡整備委員会委員

	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	北垣 俊明	富士宮市文化財保護審議会副会長 奇石博物館副館長	地質学
副委員長	小林 謙一	中央大学文学部教授	考古学
委 員	篠原 和大	静岡大学人文社会科学部教授	考古学
委 員	建部 恭宣	元富士山世界遺産静岡県学術委員会委員 富士宮市文化財保護審議会委員	建築学
委 員	※1 小代田 仁	鳥並区区長	地域代表
委 員	※2 榊原 修二	大鹿窪区区長	地域代表

※1 令和4年6月7日退任

※2 令和4年6月8日就任

(5) 富士宮市史編さん委員

任 期 令和4年2月14日から令和6年2月13日まで
根拠法令等 富士宮市専門委員設置規則第3条

	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	谷川 章雄	早稲田大学人間科学学術院教授	考古学
副委員長	橋本 誠一	静岡大学人文社会科学部教授	近現代史
委 員	小山 真人	静岡大学未来社会デザイン機構教授	自然環境
委 員	西田 かほる	静岡文化芸術大学文化政策学部教授	近世史
委 員	松田 香代子	愛知大学非常勤講師	民俗学
委 員	山田 邦明	愛知大学文学部教授	中世史

※令和5年3月31日現在（委員・役職名等）

※委員は五十音順

資料 ii 富士宮市内指定文化財等一覧

富士宮市内指定文化財等一覧

〈令和 5 年 3 月 31 日現在〉

国指定文化財（21 件）

No.	種別	文化財の名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
1	重要文化財・建造物	富士山本宮浅間神社本殿	宮町	富士山本宮浅間大社	明 40. 5. 27
2	〃 ・ 〃	大石寺五重塔	上条	大石寺	昭 41. 6. 11
3	〃 ・ 絵 画	絹本着色富士曼荼羅図	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 52. 6. 11
4	〃 ・ 工芸品	太刀（銘南无薬師瑠璃光如来/備前国長船住景光）	宮町	富士山本宮浅間大社	明 45. 2. 8
5	〃 ・ 〃	脇差（銘奉富士本宮源式部丞信国/一期一腰応永廿四年二月日）	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
6	〃 ・ 〃	太刀（銘吉用）	上条	大石寺	大 12. 3. 28
7	〃 ・ 書跡典籍	法華經（常子内親王筆）	西山	西山本門寺	昭 24. 2. 18
8	〃 ・ 〃	紺紙金字法華經（開結共）	西山	西山本門寺	〃
9	〃 ・ 〃	貞観政要巻第一（日蓮筆）	北山	北山本門寺	昭 27. 7. 19
10	〃 ・ 〃	細字金字法華經（藍紙）	北山	北山本門寺	昭 29. 3. 20
11	〃 ・ 古文書	法華證明鈔（日蓮筆）	西山	西山本門寺	昭 27. 7. 19
12	〃 ・ 〃	日蓮自筆遺文	上条	大石寺	昭 42. 6. 15
13	〃 ・ 〃	日蓮遷化記録（日興筆）	西山	西山本門寺	平 5. 1. 20
14	特別名勝	富士山	二合目以上他	（富士宮市他）	昭 27. 11. 22
15	特別天然記念物	狩宿の下馬ザクラ	狩宿	個人（富士宮市）	昭 27. 3. 29
16	〃	湧玉池	宮町他	富士山本宮浅間大社	〃
17	史 跡	千居遺跡	上条	大石寺	昭 50. 6. 26
18	〃	大鹿窪遺跡	大鹿窪	富士宮市	平 20. 3. 28
19	〃	富士山	八合目以上他	（富士宮市他）	平 23. 2. 7
20	名勝・天然記念物	白糸ノ滝	原・上井出	（富士宮市）	昭 11. 9. 3
21	天然記念物	万野風穴	山宮	（富士宮市）	大 11. 3. 8

県指定文化財（24 件）

No.	種別	文化財の名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
1	建造物	西山本門寺本堂厨子	西山	西山本門寺	昭 29. 1. 30
2	〃	富士山本宮浅間大社社殿	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
3	〃	大石寺御影堂	上条	大石寺	昭 41. 3. 22
4	〃	大石寺三門	上条	大石寺	〃
5	絵 画	富士浅間曼荼羅図	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 56. 10. 23
6	工芸品	脇差（銘出羽大掾藤原国路）	大中里	個人	昭 37. 6. 15
7	〃	青磁蓮弁文大壺	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 52. 3. 18
8	〃	青磁浮牡丹文香炉	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
9	〃	人形手青磁大茶碗	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
10	〃	鉄板札紅糸威五枚胴具足	宮町	富士山本宮浅間大社	〃
11	書跡典籍	万暦本一切經	上条	大石寺	昭 52. 3. 18
12	〃	重須本曾我物語	北山	北山本門寺	昭 53. 10. 20
13	無形民俗文化財	富士宮囃子	宮町他	富士宮囃子保存会	平 7. 3. 20
14	天然記念物	村山浅間神社の大スギ	村山	村山浅間神社	昭 31. 5. 24
15	〃	西山本門寺の大ヒイラギ	西山	西山本門寺	〃
16	〃	北山本門寺のスギ	北山	北山本門寺	昭 32. 5. 13
17	〃	大晦日五輪のカヤ	内房	個人	昭 40. 3. 19
18	〃	村山浅間神社のイチヨウ	村山	村山浅間神社	昭 43. 7. 2
19	〃	上条のサクラ	上条	個人	〃
20	〃	富士山芝川溶岩の柱状節理	羽鮒	個人	昭 59. 3. 23
21	天然記念物	猪之頭のミツバツツジ	猪之頭	個人	昭 60. 11. 29
22	〃	大晦日のタブノキ	内房	個人	昭 62. 3. 20
23	〃	芝川のポットホール	下柚野	（富士宮市）	平 7. 3. 20
24	〃	精進川の大カシワ	精進川	個人	平 29. 3. 24

市指定文化財（43 件）

No.	種別	文化財の名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
1	建造物	平等寺の三門	東町	平等寺	昭 60. 3. 11
2	〃	井出家高麗門及び長屋	狩宿	富士宮市	平 7. 3. 16
3	〃	妙蓮寺 5 棟	下条	妙蓮寺	平 23. 5. 24
4	〃	上稲子八幡宮の厨子	上稲子	八幡宮	平 25. 6. 20
5	〃	龍興寺の厨子	内房	龍興寺	〃
6	〃	芭蕉天神宮本殿	内房	芭蕉天神宮	〃
7	絵 画	天象の図	村山	村山浅間神社	昭 55. 1. 11
8	〃	太郎坊権現の図	村山	村山浅間神社	〃
9	〃	阿字曼陀羅	村山	村山浅間神社	〃
10	〃	伝末代上人画像	村山	村山浅間神社	〃
11	彫 刻	大日如来坐像（胎蔵界）	村山	村山浅間神社	昭 57. 8. 23
12	〃	大日如来坐像（金剛界）	村山	村山浅間神社	〃
13	〃	大日如来坐像（胎蔵界）	村山	村山浅間神社	〃
14	〃	役行者倚像	村山	村山浅間神社	〃
15	〃	不動尊像	村山	村山浅間神社	〃
16	〃	隨身像	宮町	富士山本宮浅間大社	平 5. 5. 25
17	工芸品	伝源義助作大薙刀	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 40. 5. 10
18	〃	弥陀観音勢至の軸（阿弥陀三尊雲越之来迎図）	上柚野	延命寺	平 24. 5. 24
19	書跡典籍	後陽成天皇宸翰	宮町	富士山本宮浅間大社	昭 40. 5. 10
20	〃	外国語（英・蘭）辞書類一括	中央町	個人	昭 63. 4. 15
21	〃	三島ヶ嶽経塚出土経巻	宮町	富士山本宮浅間大社	令 1. 7. 18
22	古文書	袖日記	大宮町	個人	昭 60. 3. 11
23	〃	角田桜岳日記	長貫	富士宮市	令 1. 7. 18
24	〃	旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）	長貫	村山浅間神社	令 4. 1. 24
25	〃	旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）	長貫	村山浅間神社	令 4. 1. 24
26	考古資料	三連甕形土器	黒田	個人	昭 55. 1. 11
27	〃	安養寺の土偶	杉田	安養寺	昭 57. 8. 23
28	〃	駿州富士郡二股村石経塚	栗倉	個人	昭 63. 4. 15
29	〃	銅造虚空蔵菩薩像懸仏	宮町	富士山本宮浅間大社	平 29. 5. 18
30	無形民俗文化財	火伏念仏	内野	火伏念仏保存会	平 11. 1. 26
31	〃	富士山本宮浅間大社流鏑馬	宮町	富士山本宮浅間大社流鏑馬保存会	平 18. 9. 8
32	史 跡	大室古墳	小泉	（上小泉八幡宮）	昭 60. 3. 11
33	〃	中野梅市建立の句碑	黒田	本光寺	〃
34	〃	虚空蔵社古墳	西小泉町	個人	平 5. 5. 25
35	天然記念物	大宮縄状溶岩	元城町	富士宮市	昭 44. 4. 1
36	〃	フジキクザクラ	上条	大石寺	昭 57. 8. 23
37	〃	中央町のカヤ（カヤの木）	中央町	個人	〃
38	〃	猫沢のカシワ	猫沢	個人	平 26. 4. 30
39	〃	西山本門寺のシダレマキ	西山	西山本門寺	〃
40	〃	寛妙寺のイヌマキ	内房	（橋上町内会）	〃
41	〃	平野のエドヒガンザクラ	羽鮒	平野町内会	平 29. 5. 18
42	〃	田貫湖のハコネグミ	佐折	富士宮市白糸財産区	令 3. 6. 16
43	〃	田貫湖のアシタカツツジ群落	佐折・猪之頭	富士宮市白糸財産区 富士宮市猪之頭財産区	令 3. 6. 16

国登録有形文化財（1 件）

No.	種別	文化財の名称	所在地	所有者（管理者）	登録年月日
1	建造物	吉澤家住宅煉瓦蔵	宮町	個人	平 27. 3. 26

富士宮市文化財年報 第 13 号

令和 5 年 11 月 14 日

編集 富士宮市教育委員会

発行 富士宮市教育委員会

静岡県富士宮市弓沢町 150 番地

電話 (0544) 22-1111(代)

印刷 株式会社きうち印刷

